

## 「名古屋都市計画火葬場の変更（清須市決定）」に係る都市計画の素案に関する公述申出に対する見解書

平成29年11月6日（月）から11月20日（月）にかけて、名古屋都市計画火葬場の変更（清須市決定）に関する都市計画の素案の縦覧を行ったところ、2名の方から公述申出書の提出がございましたので、清須市都市計画に関する公聴会規則に基づき、平成29年12月17日（日）に「名古屋都市計画火葬場の変更（清須市決定）」に係る都市計画の素案に関する公聴会を開催いたしました。

この公聴会にて公述していただいたご意見の要旨と、これに対する市の考え方を公表いたします。

- 1 都市計画素案 : 名古屋都市計画火葬場の変更
- 2 日 時 : 平成29年12月17日（日） 午前10時00分～午前10時40分
- 3 場 所 : 春日公民館 大ホール
- 4 公 述 人 : 2名

5 公聴会意見の要旨及び清須市の見解

公述人	意見の要旨	市の見解
1	<p>清須市、あま市の市民は、他の自治体へ火葬を依存している状況である。そのような状況で、今後の増加する火葬需要や大規模災害時に、他自治体に火葬の受け入れをしてもらえるのか不安である。東日本大震災では、被災地で仮土葬の後に掘り起こして火葬を行ったとの事案があり、その事態だけは避けなければいけない。</p> <p>誰もが最期に必ず利用することとなる火葬場の整備は必要不可欠である。周辺住民に配慮した施設が整備されることを願う。</p>	<p>近年、都市部では深刻な火葬場不足があり、将来の火葬需要に対する不安が強くなっています。</p> <p>清須市及びあま市は、合併して市となる前から他の自治体への火葬依存を早期に解消する必要があると考えており、将来の火葬需要の増加や大規模災害に備えるため、自治体の責務として火葬場の整備を推進してまいります。</p>
2	<p>現在の他自治体の火葬場利用については、移動時間が長く、待合室等にプライベート空間がないことなどから身体的疲労負担がある。また、火葬料金についても、高い市外料金をとっており、市民の経済的負担も大きい。</p> <p>今回計画されている火葬場は、場所もアクセスしやすく短時間で到着でき、基本計画上も施設内諸室のプライベート空間が確保されており、火葬料金についても、市民サービスとして今までより安価な設定になることが期待できる。</p> <p>少子高齢化が進む中、子や孫など次世代のためにも、火葬場が早期に整備されることを望む。</p>	<p>通常、火葬場整備が近隣住民に心理的負担をかけないようにするため、交通的にも不便な場所になることが多い中、当地域では春日杵前地区が選定されました。これは火葬場の重要性、公益性を周辺地区の皆様にご理解いただいた賜物であります。</p> <p>火葬料金については、今後、近隣の自治体の例を参考に検討しますが、現状よりも経済的負担が少なくなると考えております。</p>